



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 monoAI technology株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5240 URL http://monoai.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 真輝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 松岡 壮 TEL 03 (6273) 2753
 半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	639	△15.3	△109	—	△105	—	△46	—
2024年12月期中間期	755	48.0	△122	—	△128	—	△313	—

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 △46百万円 (—%) 2024年12月期中間期 △313百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△3.78	—
2024年12月期中間期	△30.05	—

(注) 1. 2024年12月期中間期及び2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	1,715	1,514	88.3
2024年12月期	1,875	1,560	83.2

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 1,514百万円 2024年12月期 1,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,062	△25.7	△352	—	△344	—	△304	—	△24.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) ー、除外 1社 (社名) モリカトロン株式会社
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期中間期	12,263,820株	2024年12月期	12,260,240株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	1株	2024年12月期	1株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年12月期中間期	12,260,885株	2024年12月期中間期	10,447,451株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社を取り巻く環境は、インバウンド増加と国内需要の回復による社会経済活動の正常化が進み、緩やかに回復してまいりました。一方で、緊迫した世界情勢に加え、物価の高騰を背景とした生活防衛意識の高まりなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは「先進技術で社会の未来を創造する。」を企業理念に掲げ、オンラインゲーム開発で培った大規模通信技術とAI技術をコアとして、あらゆる産業のデジタルトランスフォーメーション

(DX)を支援するXR事業を展開しています。メタバースプラットフォーム「XR CLOUD」をOEM提供し、クライアント独自のメタバースを構築するメタバースサービス、「XR CLOUD」上で社内イベントや展示会、各種カンファレンス等のクライアントの要望に沿った多様なイベントを企画・制作・運営するXRイベントサービス、「XR CLOUD」に限らずXR全体の幅広いニーズに応えるXR周辺サービスを提供してまいりました。

当中間連結会計期間の当社グループの経営成績は、売上高639,951千円(前年同期比115,417千円減)、営業損失109,103千円(前年同期比12,944千円増)、経常損失105,625千円(前年同期比22,824千円増)となりました。親会社株主に帰属する中間純損失は、連結子会社モリカトロン株式会社の株式譲渡に伴う関係会社売却益を特別利益に計上したこと等により46,297千円(前年同期比267,650千円増)となりました。

なお、当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は1,715,166千円(前連結会計年度末比160,037千円減)となりました。

流動資産は1,651,614千円(前連結会計年度末比147,495千円減)となりました。主な増減要因は、「現金及び預金」が220,629千円増加したこと、「売掛金及び契約資産」が348,333千円減少したことによるものであります。

固定資産は63,552千円(前連結会計年度末比12,542千円減)となりました。前連結会計年度末に引き続き、固定資産の減損処理を行っております。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は201,110千円(前連結会計年度末比113,758千円減)となりました。

流動負債は160,332千円(前連結会計年度末比103,580千円減)となりました。主な減少要因は、「買掛金」が30,280千円減少したこと、「1年内返済予定の長期借入金」が36,474千円減少したことによるものであります。

固定負債は40,777千円(前連結会計年度末比10,177千円減)となりました。主な減少要因は、「長期借入金」が5,600千円減少したこと、「資産除去債務」が4,577千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,514,056千円(前連結会計年度末比46,279千円減)となりました。主な減少要因は、親会社株主に帰属する中間純損失を46,297千円計上したことによるものであります。なお、資本金及び資本準備金の額の減少並びにその他資本剰余金の処分を行った影響により、資本金1,007,835千円並びに資本準備金1,701,106千円を減少し、その他資本剰余金へ振替え、その他資本剰余金1,857,133千円を繰越利益剰余金へ振替えております。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当中間連結会計期間末は88.3%であります。また、支払い能力を示す流動比率は、1,030.1%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における「現金及び現金同等物の中間期末残高」は、1,492,577千円(前連結会計年度末比220,629千円増)となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フロー198,333千円の収入(前年同期比234,318千円増)、投資活動によるキャッシュ・フロー64,439千円の収入(前年同期比92,507千円増)に対し、財務活動によるキャッシュ・フロー42,144千円の支出(前年同期比994,411千円減)によるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、198,333千円の収入(前年同期比234,318千円増)となりました。

主な増加要因は売上債権の減少335,916千円であります。

一方で減少要因は、税金等調整前中間純損失43,824千円及び、関係会社株式の売却益83,474千円の減少要因があ

ったことを主な理由とするものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、64,439千円の収入(前年同期比92,507千円増)となりました。

主な増加要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入46,032千円、また、みなし連結除外後に連結子会社であったモリカトロン株式会社から貸付金を回収したことによる収入41,000千円であります。

一方で減少要因は、無形固定資産の取得による支出15,512千円を主な理由とするものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、42,144千円の支出(前年同期比994,411千円減)となりました。

これは長期借入金の返済による支出42,074千円を主な理由とするものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年2月14日に開示の「2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から修正しております。

詳細につきましては、2025年8月14日開示の「固定資産の減損損失の計上、並びに関係会社株式売却益の計上、及び2025年12月期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2024年12月期において、2期連続で営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。また、2期連続で営業キャッシュ・フローのマイナスも計上しております。加えて、当中間連結会計期間においても営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する中間純損失を計上しております。当該事象により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消するため当社グループは、収益獲得の拡大、売上総利益率の向上、営業利益の黒字化に向けて、「XR CLOUD」を軸としたソリューション提供を進めるとともに、AIとXRの融合を活かした新たなソリューションの開発にも注力してまいります。

なお、資金繰りについては、現金及び預金残高は1,522,577千円と十分であることに加え、取引金融機関とは良好な関係を維持しており、今後1年間の資金繰りに懸念はないと判断しております。

以上のことから、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,301,947	1,522,577
売掛金及び契約資産	442,451	94,117
仕掛品	3,548	3,489
その他	51,162	31,429
流動資産合計	1,799,109	1,651,614
固定資産		
有形固定資産	1,949	98
投資その他の資産	74,145	63,453
固定資産合計	76,094	63,552
資産合計	1,875,204	1,715,166
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,113	22,833
1年内返済予定の長期借入金	46,919	10,445
未払法人税等	17,723	2,327
未払消費税等	11,102	15,532
賞与引当金	11,600	5,800
資産除去債務	—	2,882
その他	123,454	100,510
流動負債合計	263,912	160,332
固定負債		
長期借入金	23,200	17,600
資産除去債務	27,755	23,177
固定負債合計	50,955	40,777
負債合計	314,868	201,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057,835	50,009
資本剰余金	2,359,606	1,510,317
利益剰余金	△1,857,133	△46,297
株主資本合計	1,560,308	1,514,028
新株予約権	28	27
純資産合計	1,560,336	1,514,056
負債純資産合計	1,875,204	1,715,166

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2025年1月1日 至2025年6月30日)
売上高	755,368	639,951
売上原価	499,334	396,657
売上総利益	256,033	243,293
販売費及び一般管理費	378,081	352,397
営業損失(△)	△122,047	△109,103
営業外収益		
受取利息	4	832
受取家賃	1,223	3,010
その他	437	86
営業外収益合計	1,664	3,929
営業外費用		
支払利息	1,318	451
為替差損	146	—
株式交付費	6,602	—
営業外費用合計	8,067	451
経常損失(△)	△128,449	△105,625
特別利益		
関係会社株式売却益	—	83,474
特別利益合計	—	83,474
特別損失		
減損損失	175,043	21,673
固定資産除却損	376	—
特別損失合計	175,420	21,673
税金等調整前中間純損失(△)	△303,869	△43,824
法人税、住民税及び事業税	3,120	2,473
法人税等調整額	6,957	—
法人税等合計	10,078	2,473
中間純損失(△)	△313,948	△46,297
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△313,948	△46,297

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2025年1月1日 至2025年6月30日)
中間純損失(△)	△313,948	△46,297
中間包括利益	△313,948	△46,297
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△313,948	△46,297
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2025年1月1日 至2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△303,869	△43,824
減損損失	175,043	21,673
資産除去債務戻入益(△は益)	—	△523
減価償却費	20,259	1,314
のれん償却額	16,670	—
受取利息及び受取配当金	△4	△832
支払利息	1,318	451
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△83,474
固定資産除却損	376	—
株式交付費	6,602	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,020	△5,800
売上債権の増減額(△は増加)	19,122	335,916
棚卸資産の増減額(△は増加)	△693	59
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,931	△28,960
未払金の増減額(△は減少)	48,911	△7,108
未払費用の増減額(△は減少)	15,102	△1,249
預り金の増減額(△は減少)	10,510	△8,417
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,311	6,552
その他	△24,660	14,765
小計	△29,952	200,544
利息及び配当金の受取額	4	832
利息の支払額	△1,175	△451
法人税等の還付額	933	965
法人税等の支払額	△5,794	△3,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	△35,984	198,333
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,731	△7,176
無形固定資産の取得による支出	△9,286	△15,512
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	46,032
貸付金の回収による収入	—	41,000
敷金及び保証金の差入による支出	△228	△1,434
敷金及び保証金の回収による収入	179	1,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,067	64,439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	999,815	—
株式の発行による支出	△6,602	—
長期借入金の返済による支出	△41,196	△42,074
リース債務の返済による支出	△105	△88
新株予約権の行使による株式の発行による収入	356	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	952,267	△42,144
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	888,214	220,629
現金及び現金同等物の期首残高	911,892	1,271,947
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,800,107	1,492,577

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月28日開催の定時株主総会において、資本金及び資本準備金の額の減少並びにその他資本剰余金の処分について決議し、当該決議について、2025年6月1日に効力が発生しております。この結果、当中間連結累計期間において、資本金1,007,835千円並びに資本準備金1,701,106千円を減少し、その他資本剰余金へ振替え、その他資本剰余金1,857,133千円を繰越利益剰余金へ振替えております。

これらにより、当中間連結会計期間末において資本金が50,009千円、資本剰余金が1,510,317千円、利益剰余金が△46,297千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2024年1月1日 至2024年6月30日)

当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自2025年1月1日 至2025年6月30日)

当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。